

## 研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

### <研究課題名>

早期に陽転化した血液培養ボトルの後日再検索の意義に関する研究

### <研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部 (研究責任者) 谷道 由美子

### <研究期間>

承認日～西暦 2025 年 3 月 31 日

### <対象となる方>

承認日～西暦 2025 年 3 月 31 日の間に、血液培養検査が施行され菌が検出された方を対象とします。

### <研究の目的>

血液培養検査は、菌血症や重症感染症を疑った場合に行われる検査です。「血液培養ボトル」に採取された血液は、自動分析装置で培養が開始されますが、菌の発育を検知した時点で装置から取り出されます。

その後は、寒天培地を使い菌の種類や有効な抗菌薬を調べていくため、「血液培養ボトル」は最初の検知のみにしか使用しません。しかし、菌の増殖スピードは菌種により大きく異なるため、増殖が遅い菌種が存在している場合は見逃している可能性も考えられます。真の単一菌による菌血症であれば抗菌薬治療の成功率は高いですが、2菌種以上の混合感染であった場合、治療の失敗につながる可能性があります。

本研究は、「血液培養ボトル」を数日後に再検索し、報告菌以外の菌種が存在していないかを検証します。

### <研究の方法>

陽性となった「血液培養ボトル」は数日間静置しておきます。その血液培養ボトルを再度染色し、報告した菌以外の菌が発育していないかを調べます。もしも新たな菌の発育が認められた場合には、主治医に追加報告するとともに、患者さんの感染源や疾患、抗菌薬の使用状況、転帰などについて解析します。

### <研究に用いる試料・情報の項目>

臨床検査部・細菌検査室に提出された血液培養ボトルを使用します。

### <お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1)

臨床検査部 氏名：谷道 由美子

電話：03-3972-8111 内線：3985 (PHS) 8820

※研究対象者とは、以下に該当する方(死者を含む。)を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方